



JACET通信

一般社団法人大学英語教育学会

December 2021 The Japan Association of College English Teachers No.212

目次

巻頭言 (小田眞幸)	1 頁	2022 年度国際大会予告 (上田倫史)	5 頁
JACET 創立 60 周年記念ウィーク (佐藤雄大)	3 頁	本部だより (馬場千秋)	7 頁
JACET 褒賞報告 (佐藤雄大・馬場千秋)	5 頁	支部だより	17 頁

[巻頭言]

次のステップは？

—JACET 創立 60 周年記念ウィークを終えて—

一般社団法人大学英語教育学会会長 小田 眞幸
玉川大学

JACET創立60周年記念ウィーク(第48回サマーセミナー、第60回記念国際大会)は2021年8月25日から29日までの5日間オンラインで行われました。それぞれの詳細については担当理事が本通信で報告しておりますので、そちらをお読み頂きたいと思いますが、

本稿ではJACET通信211号(Web版)でご報告させて頂いた人事関係について改めて紙面で報告させていただき、会長としての立場でJACET60周年記念ウィークの振り返りを行います。JACET通信209号で寺内一前会長が述べられていた将来構想委員会案『遠隔元

年を迎えたJACETの将来に向けて』(p.6)は2021年6月20日の理事会での同委員会からの最終答申の基本となっていますが、今後現理事会としてJACETの事業見直しと組織改革をどのように進めて行くかについて今後の予定を示したいと思います。

1. 新旧理事、特別顧問の紹介

2021年6月20日をもって、ご退任された役員(理事・監事)は以下の通りです。寺内一理事(会長)、尾関直子理事(副会長)、田田野彰理事(副会長)、藤尾美佐理事(関東支部長)、石川有香理事(中部支部長)、岩井千秋理事(中国・四国支部長)、石井和仁理事(九州・沖縄支部長)、木村松雄理事、内藤永理事、笹島茂監事の10名です。先生方にはこれまでのご尽力とご貢献に対してこの場をお借りして御礼申し上げます。一方、2021年6月20日付で就任されたJACETの役員(理事・監事)は以下の通りです。小田眞幸理事(会長)、佐藤雄大理事(副会長)、上野之江理事(北海道支部長)、富田かおる理事(東北支部長)、山口高領理事(関東支部長)、今井隆夫理事(中部支部長)、植松茂男理事(関西支部長)、岩中貴裕理事(中国・四国支部長)、志水俊広理事(九州・沖縄支部長)、相川真佐夫理事、浅川和也理事、馬場千秋理事、原隆幸理事、金丸敏幸理事、河野円理事、リース・エイドリアン理事、下山幸成理事、上田倫史理事、渡辺敦子理事の理事19名と木村松雄監事、駒田誠監事の2名です。任期は2023年6月の社員総会までの2年間となっています。なお理事を退任された寺内一前会長、尾関直子前副会長、田田野彰前副会長には特別顧問に就任いただきJACETの運営について引き続きご指導、ご助言を頂くことが6月20日の理事会、社員総会で承認されました。理事会一丸となってJACETの運営にあたりますのでよろしくお願いいたします。

2. 社員・本部運営委員・支部運営委員・研究企画委員の委嘱

2021年4月1日から2023年3月31日までの2年間の任期で社員77名が選出されました。社員は『一般社団法人大学英語教育学会定款』の第6条(法人の構成員)の第3項「社員は一般会員による社員選挙で選出する」と第4項「社員は一般会員から選ばれる」に基づいております。さらに、『学会運営規程』に基づいて、顧問、本部幹事(各運営委員会の委員長)、正副代表幹事、各委員会の運営委員、各支部の副支部長と支部幹事、研究企画委員が同日の理事会で承認されました。なお、本部の正副代表幹事(任期は2023年3月31日まで)は以下の通りです。代表幹事(総務委員会委員長・総務担当理事)は馬場千秋理事、副代表幹事(総務委員会副委員長、総務担当理事)は金丸敏幸理事、大矢政徳本部委員です。社員を含む2021年度人事はJACETのWebページをご覧ください。

3. JACET創立60周年記念ウィークを終えて

まずこの場をお借りしてJACET創立60周年記念ウィークが成功裡に終わったことについて会員の皆様にあらためて御礼を申し上げます。60周年という節目の大会であったことに加え、さらに昨年に予定されていた第59回大会を中止せざるを得ませんでした。今年もコロナ禍により先がどうなるかわからない状況にもかかわらず、全国から集まった約100名の委員の皆さんを中心に、賛助会員の皆さんにも多大なご協力を頂き、JACETとしては初のオンラインによる大会が出来ました。ここに至るまで、第59回の担当であった関西支部、また当初対面で大会を行うべく準備をしていた中国・四国支部の皆さんをはじめ、数回にわたる計画変更に対し臨機応変に対応して準備を進めて頂いた前理事会のメンバーには深く感謝いたします。またオンラインでの開催の「トライアル」でもあった昨年の第3回JAAL in JACET学術交流集会の役割も忘れてはならないと思います。この原稿を執

筆している時点で新型コロナウイルスの感染者は減少傾向にあります。勿論予断は許されません。2022年度の第61回大会はオンラインで開催予定ですが、今後「コロナ後」の国際大会の形態については早急に考えて行かなければなりません。

4. JACETの事業見直しと組織改革

前号では新会長として任期中に行うべく優先事項について書かせていただきましたが、その中で今回は将来構想委員会の答申の中心であったJACETの事業見直しと組織改革をどのように進めて行くかを述べたいと思います。最初のステップは今後の国際大会の運営形態の検討です。対面、ハイブリッド、オンラインなど選択肢がありますが、それぞれについて、財政、会員サービス、労力などの面でどのようなメリット、デメリットがあるかを検討しながら今年度中には具体的なプランを理事会で審議する予定で進めていきたいと考えています。大会については従来の支部間のローテーションで開催地を回していく方法を検証すること、またAsia TEFLなどの国際会議との共同開催の可能性も検討します。これ以外にも、セミナーを含めたJACETの第1号事業を担当する組織を確立させます。すでに創立60周年記念ウィーク特別委員会が形ができていたため、それを解消する形で現在の国際大会組織委員会とセミナー事業委員会の業務が段階的に統合されます。さらに学术交流委員会（第4号事業）、研究促進委員会（第4号事業）の業務内容の精査を行います。具体的にはこれまで海外の提携団体およびAILA関連の業務が中心であった第4号事業に、これまで複数の委員会に対応していた国内の他学会や各種団体との交流業務を集約し、それに対応できる組織に変更していきます。それと同時にこれまで研究促進委員会が担当してきたJAAL-in・JACET学術交流集会の運営組織の位置づけも検討していきます。2023年6月の理事会、社員総会で事業見直し及び組織変更についての最終審議が出来ますよう、今後各委

員会、理事会で議論を進めてまいります。支部や研究会を通して皆さんのご協力をお願いすることがあるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

JACET 創立 60 周年記念ウィーク —Reflection and Reconnection—

第 60 回記念国際大会
JACET 創立 60 周年記念ウィーク
特別委員会委員長
佐藤雄大 (名古屋外国語大学)

2021年8月25日～8月29日の5日間、JACET 創立60周年記念ウィークがテーマを「Reflection and Reconnection」としてオンライン開催されました。この記念ウィークでは、前半2日間(8月25日、26日)に「Changing Times, Changing Instruction, Changing Materials: How Should We Respond?」をテーマとして第48回サマーセミナーを開催し、後半3日間(8月27日～29日)では「English Language Education to Endure Changing Times: Facing the Reality of Society 5.0」をテーマとして60回記念国際大会を開催し、国内外から多くの研究者の方々にオンライン参加していただきました。

記念ウィークのテーマ「Reflection and Reconnection」にはこの60年間を振り返り、そしてこれからのJACETの活動を起点にいろいろな結びつきを深めることができるという思いがこもっています。またサマーセミナーのテーマと国際大会のテーマ双方に「Changing Times」が盛り込まれているのは2020年初頭から世界的に感染拡大した新型コロナウイルスに対応するため多くの大学で対面授業の実施が難しくなり、オンラインあるいはハイフレックス授業が急激に拡大した状況とそれまで近い将来到

来すると考えられていたデジタルトランスフォーメーション (DX) が社会全体のオンライン化とあわせて急速に求められる状況に教育現場が直面したことが反映されています。

前半のサマーセミナーは8月25日からスタートし、ベトナム国立大学から Le Van Canh 先生、梨花女子大学から Jihyeon JEON 先生、そして神戸学院大学名誉教授のジュディー野口先生を講師としてお招きし、84名の方に参加していただきました。また後半3日間の国際大会では、通常の一般発表に加え、シンポジウム、ポスター発表、支部発表などを集めた「JACET Hours」、バーチャル展示会場として「Remo」など今までの国際大会にはなかった新しい試みを行い、多くの参加者の方に対面ではなくても充実した交流ができるように運営しました。この国際大会では620名の方に参加していただき、セミナーに続いて Le Van Canh 先生、Jeon Jihyeon 先生の基調講演、公益財団法人日本英語検定協会 (英検) と一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) による2件の特別賛助会員シンポジウムと6つの特別シンポジウム (海外提携学会・応用言語学会・AILA East Asia・JACET シンポジウム過去・JACET シンポジウム現在・JACET シンポジウム未来)、そして一般発表は155件、JACET Hours で26件の発表、そして賛助会員によるオンライン情報発信の枠の「Lightning Talk」で賛助会員の方に発表していただきました。

このような60周年記念ウィークの開催は昨年から続くコロナ禍の影響で今までのサマーセミナー、国際大会の準備から、開催方法まで根本的に異なるものでした。まず昨年開催予定であった第59回国際大会 (同志社大学) はコロナ禍の影響のため中止となり、この60周年記念ウィークも当初は中国・四国支部を中心として対面で実施する方向で準備してきたものの、感染状況の推移を考慮して全面オンライン開催に移行しました。このような大会の中止、そして開催方法の

変更という今までに無い事態に加え全面オンラインで国際大会を開催することも JACET には初めてであり、この開催と運営は大きなチャレンジでした。幸い昨年12月にオンライン開催した第3回 JAAL in JACET を参考にすることができ、また全支部の協力や総勢100名を超す特別委員会の先生方の協力を仰ぎつつ、ようやく60周年記念ウィークを開催することができました。また開催にあたって大きな懸念は13のZoomを立ち上げて運用した一般発表が滞りなく進行するかどうかでした。幸いIIBCに会場を提供していただき、レンタルした13台のノートパソコンでZoomを並行して立ち上げ、何か突発的なことが起こっても発表が途切れないように近畿大学に協力いただきバックアップ体制をとり、さらに名古屋では名古屋外国語大学の学生18名で学生アルバイトチームを作り、発表が行われている各Zoomルームに待機して一般発表の運営をサポートする体制を整え、大きな混乱もなく終えることができました。

計5日間すべてオンラインで開催した記念ウィークを準備・実施することで、新しい可能性に気づくことも多々ありましたが、対面で実施してきた国際大会と同様に1人1人の参加者と賛助会員の皆さまの協力があった初めて成り立つものだと改めまして実感しました。準備や大会期間中のことを振り返ると様々な準備不足や問題点もありましたので、それらはこれから開催される国際大会を含めて JACET のイベントに活かしていくことができればと考えています。

JACET 褒章報告

JACET 褒章運営委員会担当理事
佐藤雄大 (名古屋外国語大学)
馬場千秋 (帝京科学大学)

2021年度のJACET褒賞は、厳正なる審査の結果、学会賞で受賞者が決定いたしました。

JACET60周年記念国際大会(2021、オンライン)の会期中に、表彰式が行われました。受賞者と対象業績は下記のとおりです。受賞者の方には心より喜び申し上げます。

大学英語教育学会褒賞 学会賞

受賞者：瀧本将弘(青山学院大学)

対象業績：*Application of Cognitive Linguistics in Foreign Language Teaching*

(東京：開拓社、2020)

2022年度国際大会予告

国際大会組織委員会担当理事
上田倫史(駒澤大学)

大学英語教育学会(JACET)第61回国際大会(オンライン、2022)

The 61st JACET International Convention (Online, 2022)

開催期間：2022年8月24日(水)～26日(金)

開催形式：オンライン(担当：九州・沖縄支部)

テーマ：「デジタルトランスフォーメーションのグローバルな進展における言語文化教育の再設計」

Redesigning of Language and Culture Education in the Global Process of Digital Transformation

基調講演者：

1. Deborah Healey (University of Oregon, TESOL 前会長)

2. Wei Keong Too (University of Nottingham Malaysia)

大会趣旨：

感染症の拡大を契機として、大学ではオンライン授業が特別なものではなく、授業形態の選択肢の一つとなりました。その中で、対面型教育の教材や教授法、評価方法の限界や問題点も見えてきました。教育における情報通信技術の浸透は人々の意識を変え、同時にこれまでの教育方法や学習環境を再編し、変革する動きを見せています。その一方で、物理的な移動が制限されるにいたって、国際化や国際交流のあり方についても一度振り返るべき時期にあります。国際学会や留学など、当たり前であった人的交流までもオンライン化される状況において、画面越しの国際交流や国際理解を深めていくことは可能なのでしょうか。このような問いに向き合うべき時代に我々は置かれています。そこでJACETは、創立60周年記念国際大会を機に、「言語を通じた社会問題の解決」という幅広い視野で問題解決に取り組む応用言語学の理念に立ち返り、英語を含む様々な言語の教育や文化の理解に努める姿勢を打ち出しました。九州・沖縄支部が担当し、オンラインで開催される大学英語教育学会(JACET)第61回国際大会(2022)では、このような状況を踏まえ、我々が取り組むべき課題として、言語文化教育の「目標・環境・技術」の3つの観点に着目し、これらの再編・改革について議論を深めます。

「目標・環境・技術」の3点はそれぞれ独立した問題ではなく、相互に深く関係し合っています。どれか一つを改めれば良いというものではなく、一体として、それぞれの専門家が知恵を出し合っていかなければなりません。たとえば、海外留学に行くことができなくなった場合の国際化教育を取り上げると、教育の目標はどうあるべきか、どのような環境を整備するべきか、より良い教育を実現するためにどのような技術が活用できるのか、といった問題が挙げられます。これ

らの問題に個別に取り組むのではなく、それぞれの制約と可能性を考慮した上で、最善の解決策を見出していく姿勢が求められています。我々が現在模索している新しい方法論や価値観の形成ならびに人工知能に代表される高度情報通信技術の導入をめぐる議論は言語文化教育に携わる者が避けて通れないがゆえ、世界中の教育・研究者の積極的な参加を期待しています。

Triggered by the spread of infectious disease, online university classes are now an option in classroom delivery and no longer a special undertaking. With this development, however, the limitations and problems of face-to-face educational materials, and teaching and evaluation methods, have become clear. Indeed, the penetration of information and communication technology into the field of education has caused not only a change in people's consciousness but started a movement to restructure existing teaching methods and learning environments. With physical movement restricted, we are also being called upon to examine approaches to internationalization and international exchange. In a world where the ordinary human interactions that occurred at international conferences and while studying abroad have gone online, how is it possible for international exchange and understanding to deepen through computer screens? The world has brought before us such a question to consider. It was in this context that JACET used its 60th Anniversary International Convention to return to the basic principle of applied linguistics, namely cultivating a broad view toward "solving social problems through language," and to confirm its intent to promote both cultural understanding, and

the understanding of language education, including that of English and other languages.

With this background, at the 61st JACET International Convention to be handled by the Kyushu-Okinawa Chapter, and to be held online in 2022, we would like to continue to tackle the issue of language and culture education by deepening discussions on reorganizations and reforms through a focus on three perspectives - goals, environment, and technology. We do not see these as independent domains, but as fields of concern deeply related to each other. It is not a matter of solving the problem in just one area. The three are a whole and experts in each area must share their wisdom together. For example, consider education for internationalization in a world where study abroad is not possible. What then should the goals of such education be? What kind of environments should be prepared? To achieve better educational results, what sorts of technology ought to be used? Instead of tackling these problems individually, we are expected to consider all constraints and possibilities, and work to find a best solution. In addition, we also recognize that as we look to form new methodologies and value sets, those of us involved in language and culture education cannot avoid discussions about the introduction of advanced information and communication technologies, especially those represented by artificial intelligence. We very much look forward to the active participation in these discussions from many educators and researchers from across the globe.

本部だより

代表幹事 馬場千秋 (帝京科学大学)

いつもJACETの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本部からは、ご質問受付期間を9月27日(月)～10月2日(土)に設けさせていただき形で開催いたしました会員総会の報告、および2020年度の事業報告書、収支計算書、財産目録、監事監査報告書をお届けいたします。

<2021年度 一般社団法人大学英語教育学会
会員総会報告>

例年、国際大会時に会員総会を行っていましたが、2021年度はオンラインでの開催となりました。会員総会の実施方法について、2021年度第4回理事会および総務財務会議にて検討いたしました結果、2020年度同様に、メーリングリスト、ウェブサイト、フォーム入力を利用した会員総会とさせていただきます。

対面での会員総会時に行っておりました情報提供、質問受付、質問に対する回答をウェブでの資料提示、フォームでの質問受付、メールでの回答という形で実施いたしました。

1. 会員総会告示

9月21日(火)に全会員宛のメーリングリストにて、会員総会開催の予告を行い、ご質問受付期間初日の9月27日(月)に手順をご連絡いたしました。

2. 資料提示

以下の内容をそれぞれのリンク先にて提示いたしました。

1) 役員一覧

2) 人事表

https://www.jacet.org/about_jacet/executives/

3) 2020年度事業報告

4) 2020年度財務諸表

5) 2021年度事業計画

6) 2021年度予算書

https://www.jacet.org/about_jacet/annual-plan/

7) 定款

第5章 役員 第23条2 役員の設置の変更

8) 大学英語教育学会褒賞規程

第3条 賞の種類 賞の名称変更

第9条 被推薦者の意思確認を削除

9) 学会運営規程

第7条 名誉会長 顧問 特別顧問の設置

第8条 副代表幹事の任期の変更および2の代表幹事の任期の変更

https://www.jacet.org/about_jacet/agreement/

3. 質問受付

Google Formsで質問を受け付けました。

質問受付期間：9月27日(月)～10月2日(土)

4. 質問への回答

質問受付期間終了後にフォームにご入力いただいたメールアドレス宛に回答し、質問と回答内容は原則としてウェブ上にて公開することといたしました。

5. 会員総会報告

質問は1件もありませんでした。以上、ご報告いたします。

<一般社団法人大学英語教育学会

2020(令和2)年度事業状況報告書>

定款第5条第1項の(1)から(6)に掲げる2020(令和2)年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

1 号事業報告：大会セミナー等事業

(1) JACET 第 59 回国際大会（京都、2020）の中止

2020年9月8日から10日まで、大会テーマを「英語教育における「ウェルビーイング」—学習者、教師、社会の可能性を拓く—」として同志社大学新町キャンパスで開催予定だったが、コロナウィルス蔓延に伴い中止となった。なお、国際大会の発表合格者のうち希望者は、12月5日、6日にオンライン開催された「第3回 JAALinJACET（日本応用言語学会）学術交流集会（東京、2020）」で発表を振り替えた。振替件数は64件であった。

(2) JACET 創立 60 周年記念ウィーク特別委員会の開催

2021年8月25日（水）から29日（日）にオンライン上で開催する「JACET 創立60周年記念ウィーク」の準備のため、委員会としての全体会議を6回開催した。この記念ウィークは、前半2日間の「第48回 JACET サマーセミナー（オンライン、2021）」と後半3日間の「JACET 第60回記念国際大会（オンライン、2021）」から成る。

(3) JACET 第3回ジョイントセミナー（2020）の開催

2021年3月8日と9日に、第47回サマーセミナーと第8回英語教育セミナーを併せた JACET 第3回ジョイントセミナー（2020）をオンラインで開催した。“ELT materials development and use II: Linking theory and practice”（これからの英語教材の開発と活用 II—理論と実践の連携を求めて—）というテーマのもと、国内外から著名な講師を招き、当該分野における最新の研究成果を紹介した。サマーセミナー海外招待講師として John Gray 先生（UCL Institute of Education, University College London）、同国内招待講師として Kip Cates 先生（鳥取大）、Ryan W.

Smithers 先生（大谷大）、英語教育セミナー講師として金丸敏幸先生（京都大）による講義がなされた。その他、参加者によるポスター発表と報告（10件）、SIG 分科会（3件：4研究会）、情報交換会、ライトニングトーク賛助会員（7件）があった。

ポスター発表についてはファイルをウェブに掲載し、質疑を集約するようにした。参加者は78名（登録者79名）および賛助会員8団体（18名）で、活発な意見交換や情報交換が行われ、2日間の研修で当該テーマについての理解を深めた。3年間にわたり同一テーマで開催したセミナーの成果は、専門書として刊行する予定である。

(4) 支部大会の開催

支部大会は、コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止した支部もあるが、オンラインで開催した支部もあった。大会内容については、各支部ニューズレターで報告された。

- ・北海道支部大会 中止
- ・東北支部 2020年11月14日（オンライン開催）
- ・関東支部大会 2020年8月29日・30日（オンライン開催）
- ・中部支部大会 2020年9月12日（オンライン開催）
- ・関西支部大会 2020年11月14日～30日（オンライン開催：オンデマンド）
- ・中国・四国支部大会 2020年10月17日（オンライン開催）
- ・九州・沖縄支部大会 2020年11月21日（オンライン開催）

(5) 支部講演会の開催

- 以下の各支部において講演会が開催された。
- ・関東支部講演会 2020年10月3日、12月12日（ともにオンライン開催）
 - ・中部支部講演会 2020年10月17日（オンライ

ン開催)

・関西支部講演会 2020 年 10 月 17 日、2021 年 3 月 20 日 (ともにオンライン開催)

・九州・沖縄支部講演会 2020 年 11 月 21 日 (オンライン開催)

(6) 支部研究会等の開催

以下の各支部において研究会等が開催された。

・北海道支部研究会 2021 年 3 月 10 日・11 日 (オンライン開催)

・東北支部例会 2020 年 11 月 14 日 (オンライン開催)

・関東支部研究会 2020 年 6 月 13 日、11 月 14 日、3 月 13 日 (オンライン開催)

・中部支部研究会 2020 年 12 月 5 日、2021 年 3 月 6 日 (ともにオンライン開催)

2 号事業報告：出版物刊行事業

(1) 『紀要』の刊行

2021 年 3 月 16 日に『JACET Journal』65 号が刊行された。会員より応募された論文、リサーチ・ノート、及びブックレビューの 3 つの分野における論文を厳正に審査し、招待論文 2 本、会員からの一般論文 6 本が掲載された。会員及び英語教育関係機関 (国立国会図書館、大学基準協会、コンピュータ利用協議会、全国語学教育協会、海外提携学会等) へ送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『Selected Papers』の発行

2020 年 9 月に『JACET International Convention Selected Papers』7 号が刊行された。JACET 第 58 回国際大会 (名古屋、2019) で口頭発表 (一般ポスター発表も含む) した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えるため、また海外の学会や英語教育関係者に日本の研究をリアルタイムで発信するため、電子ジャーナル (オンライン) として発行した。

(3) 『JACET 通信』の刊行

① 2020 年 8 月 1 日に『JACET 通信』208 号 (日本語、ウェブサイト版)

② 2020 年 12 月 1 日に『JACET 通信』209 号 (日本語、印刷版)

③ 2021 年 3 月 23 日に『JACET 通信』210 号 (英語、ウェブサイト版)

通信を 3 回刊行し、大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより、会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。②では夏の国際大会の報告を行う予定であったが、コロナ禍のために実施できなかったため、2021 年度国際大会の予告や 60 周年を迎えるにあたり JACET の取り組むべき事柄を掲載した。

(4) 『JAAL in JACET Proceedings』の刊行

2021 年 3 月 31 日に『JAAL in JACET Proceedings』3 号が電子ジャーナルとして刊行された。「第 3 回 JAAL in JACET (日本応用言語学会) 学術交流集会 (東京、2020)」で口頭発表 (ポスターも含む) した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えたものである。JAAL in JACET Proceedings への掲載は、学術交流集会発表者にとってより大きな業績となるだけでなく、研究者同士の情報交換や議論の場として更なる研究の活性化を促進した。また、海外に対し、日本の英語教育研究に関する最新事情を発信した。

(5) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し、会員及び英語教育関係者等に送付 (または公開) した。支部紀要は、支部会員の学術研究を奨励して論文発表の機会を与えるとともに、支部会員に研究・教育実践を学び合う機会を与え、支部全体を活性化した。

・『北海道支部紀要』17 号 (冊子) 2021 年 3 月 15 日

- ・『TOHOKU TEFL』10号 (PDF) 2021年3月31日
- ・『JACET 関東支部紀要』8号 (PDF) 2021年3月31日
- ・『中部支部紀要』18号 (冊子) 2020年12月25日
- ・『JACET Kansai Journal』23号 (冊子) 2021年3月31日
- ・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』18号 (冊子) 2021年3月31日
- ・『Annual Review of English Learning and Teaching』25号 (冊子) 2020年11月30日

(6) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

- ・『JACET 北海道支部ニューズレター』34号 2021年3月31日
- ・『JACET 東北支部通信』47号 2021年3月31日
- ・『JACET 関東支部ニューズレター』15,16号 2020年10月31日、2021年3月31日
- ・『JACET Chubu Newsletter』44, 45号 2020年5月20日、12月20日
- ・『JACET Kansai Newsletter』86, 87, 88号 2020年7月17日、8月31日、11月7日
- ・『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』25, 26号 2020年7月20日、2021年1月10日
- ・『九州・沖縄支部ニューズレター』36号 2020年4月2日

3 号事業報告：表彰事業

(1) 大学英語教育学会賞の表彰

第59回(2020年度)国際大会開催中に表彰式を予定していたが、コロナ禍の影響で大会を開催できなかったことから、表彰式は行わず、9月23日に本学

会ウェブサイトに結果を掲載し、受賞者に対して賞状と記念品を贈呈した。授賞者は以下のとおりである。

2020(2020)年度大学英語教育学会賞受賞者

・大学英語教育学会賞学術出版部門
 受賞者：田地野彰(名古屋外国語大)、寺内一(高千穂大)、David Dalsky(京都大)、細越響子(京都府立大)、金丸敏幸(京都大)、加藤由崇(中部大)、マズワナ紗矢子(東京理科大)、Daniel R. Pearce(京都ノートルダム女子大)、笹尾洋介(京都大)、Ryan W. Smithers(大谷大)、Tim Stewart(京都大)、高橋幸(国立研究開発法人科学技術振興機構(JST))
 対象業績：『*A Systems Approach to Language Pedagogy*』(Singapore: Springer, 2019)

・大学英語教育学会賞論文部門
 受賞者：濱田真由(神戸大)、横川博一(神戸大)
 対象業績：論文“Effects of proficiency on syntactic priming in the language production of Japanese EFL learners” (*JACET Journal* No.63 (2019), pp. 47-64)

・大学英語教育学会賞新人論文発表部門
 受賞者：福田晶子(立教大大学院生)
 対象業績：論文“Exploring Learner Beliefs in Self-Regulated Learning: A Case Investigation of an English Self-Study” (*JACET International Convention Selected Papers* Vol.7 (2020), pp. 91-120)

・その他の部門に関しては、今年度は該当者がなかった。

4 号事業報告：協力事業

(1) 関係学術団体への派遣 I (海外提携学会)

① MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

2020年度はコロナ禍のために実施されず、2021年7月23日～25日に延期となった。

② KATE (The Korea Association of Teachers of English)

2020年7月2日から4日にオンライン・オフラインで開催された KATE 2020 International Conference に、本学会より学会代表者1名が参加した。発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

③ AILA (Association Internationale de Linguistique Appliquée) EBIC 派遣

2020年8月8日にオランダ(オンライン)で開催された AILA (国際応用言語学会)の EBIC business meeting に、AILA 担当学術交流委員が本学会代表として参加した。

④ PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)

2020年10月24日に大韓民国(オンライン)で開催された PKETA 2020 International Conference に本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑤ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

2020年度内に開催予定だった ALAK 2020 International Conference は、年度内に開催されなかった。

⑥ CELEA (Chinese English Language Education Association)

2020年10月16日から18日に北京(オンライン)で開催された CELEA 9th International Conference に、本学会役員2名を派遣した。1名で

なく2名派遣したのは、AILA East Asia が行われるためである。

⑦ ETA-ROC (English Teachers' Association of Republic of China)

2020年11月14日から15日に台湾(オンライン)で開催された ETA-ROC 29th International Symposium and Book Fair on English Teaching に、本学会役員1名が本学会代表として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑧ Thai TESOL (Thailand TESOL)

2020年度内に開催予定だった Thailand TESOL 41st International Conference は、年度内に開催されなかった。

⑨ RELC (Regional Language Centre)

2021年3月15日から17日にシンガポール共和国(オンライン)で開催された RELC 55th International Conference に本学会役員1名が本学会代表者として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(2) 関係学術団体への派遣II (国内提携学会)

① JALT (The Japan Association for Language Teaching)

2020年11月16日から23日にオンラインで開催された JALT 2020 ONLINE: Communities of Teachers and Learners (全国語学教育学会 第46回 年次国際大会教材展示会)に、本学会役員1名が本学会代表者として参加し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(3) 提携学会からの代表者受け入れ

① JACET 国際大会での Reception 開催

2020年9月8日から10日に予定していた第59

回(2020年度)国際大会がコロナ禍の影響で開催されなかったことから、その期間内に開催予定だったJACET国際大会でのReception開催、提携学会学術交流会議、招聘発表やシンポジウムは、すべて中止となった。

5 号事業報告：調査研究事業

(1) 専門分野別の研究会活動

コロナ禍の影響で活動が制限されたものの、48の研究会のうちほとんどが、それぞれの分野での調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を可能な限り行った。それにより、大学英語教育の発展に寄与し、会員相互の専門知識と技能の向上、会員の知見による学術の発展及び社会への還元を行った。また、各研究会の研究成果物を可能な限り公開できるように、そのための整理を行った。

(2) JAAL in JACET (日本応用言語学会) 学術交流集会の開催

2020年12月5日と6日にオンラインで「第3回JAAL in JACET (日本応用言語学会) 学術交流集会(東京、2020)」を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大により第59回国際大会が中止となり、同大会の発表合格者のうち希望者には第3回JAAL in JACETで発表の機会を与えた。また、同国際大会で展示をする機会を失った賛助会員には、発表の間にライトニングトークとして広報の機会を与えた。当初は12月5日(土)1日の開催予定であったが12月5日・6日と2日間の開催となった。JACETにとっては初めての大規模なオンライン学会となった本学術交流集会では、研究発表87件(第59回国際大会代替61件、JAAL in JACET 26件)、研究会発表13件、賛助会員によるライトニングトーク17件、特別企画シンポジウム2件、「JACET教員と賛助会員との連携に向けた第6回情報交換会」も開催され、盛り

だくさんの内容となった。司会者、発表者を除いて、研究発表への参加(視聴)は約90名、特別企画シンポジウムへの参加は約80名であった。一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会(IIBC)に協賛をいただきIIBCを東京・統括本部とし13台のパソコンを並べてのモニタリング、札幌・ホスティング本部に15名のアルバイト学生を配置してバックアップ体制を整え、予定されていたプログラムはすべて無事に行われた。対面での学会開催が難しい状況が続く中、オンラインでも「研究者間、研究会間、産学連携、学会連携など横のつながりを創り出すような学術交流集会」として、参加者の大変活発な交流の場となった。本学術交流集会の公式ホームページを設置し、情報を発信すると共に、情報交換会の報告書『第6回JAAL in JACET 学術交流集会 情報交換会まとめ』、『JACET通信』、論文集『JAAL in JACET Proceedings, Volume 3』(査読付き)を通じて、その成果を公表した。論文集は本学会のウェブサイトに掲載し、研究成果を国内外に発信した。

(3) 全国都道府県英語教育研究テーマの調査研究

コロナ禍の影響で調査の実施が困難なため、最終年度であった2020年度の計画を1年延長し、2021年度に行うこととする。

(4) 将来構想委員会の開催

2021年5月の理事会でJACETの将来的な組織の在り方について最終的な提言をするために、JACET理事・監事の中の若干名で様々な議論を行った。2020年5月16日、6月20日、8月31日(理事会と合同)、12月19日、2021年3月13日に委員会を開催し、5年後、10年後のJACETという組織の在り方について、JACETの本部・支部の組織を含めて抜本的な改編の議論を行った。

6 号事業報告：その他 法人事業

(1) 理事会の開催

2020年5月17日、6月21日、8月29日、12月20日、2021年3月21日に理事会をオンラインで開催し、その他、理事会メール審議を行った。

(2) 定時社員総会の開催

2020年6月21日に2020年度定時社員総会をオンラインで開催した。令和元年度事業報告・収支決算・監事監査報告、2020年度会員異動、定款変更等の承認等を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国際大会の中止ならびに支部の活動の中止・自粛で事業計画に大幅な変更があったことについて、補足説明をした。財務担当理事からは事業計画に基づいた収支予算ならびに事業計画変更後の修正予算について説明を行った。

(3) その他の委員会の開催

定例の各運営委員会、運営会議、顧問会議、支部委員会、支部役員会を適宜行った。

(4) 会員総会の開催

例年は国際大会開催期間中に会員総会を行ってきたが、コロナ禍で大会が中止となったことから、2020年度第2回理事会および総務財務会議で検討した結果、今年度はメーリングリスト、ウェブサイト、フォーム入力を利用した会員総会を行った。ウェブサイトにて昨年度の事業報告・財務諸表、今年度の事業計画・予算書、定款や諸規程の資料を掲載し、メーリングリストでリンク先を共有し、8月11日から15日までをフォームでの質問受付期間とした。質問はなかったが、会員にJACETの活動状況を周知できた。

(5) 社員選挙の実施

2020年10月から2021年1月にかけて、2021～2022年度大学英語教育学会社員の選挙を行った。『社員選挙規程』に則り立候補および他薦を応募し、候補者を選出し、候補者公示の後に異議申し立て期間

を設置し、社員77名と補欠14名が決定した。

(6) 支部総会の開催

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止、あるいはオンラインでの開催となった。

- ・北海道支部総会 2020年11月7日（オンライン）
- ・東北支部総会 2020年11月14日（オンライン）
- ・関東支部総会 2020年8月29日、11月21日（ともにオンライン）
- ・中部支部総会 2020年9月12日、12月5日（ともにオンライン）
- ・関西支部総会 2020年11月21日（オンライン）
- ・中国・四国支部総会（中止）
- ・九州・沖縄支部総会（2021年11月21日（オンライン））

以上

令和2(2020)年度収支計算書

収支計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	8,000	1,189	6,811
②入会金収入			
入会金収入	148,000	110,000	38,000
③会費収入			
一般会員会費収入	15,840,000	18,582,000	△ 2,742,000
学生会員会費収入	400,000	392,000	8,000
維持会員会費収入	143,000	143,000	0
賛助会員会費収入	1,864,000	1,753,000	111,000
団体会員会費収入	560,000	500,000	60,000
会費収入計	18,807,000	21,370,000	△ 2,563,000
④事業収入			
展示・広告収入	847,500	296,000	551,500
参加費収入	3,057,500	1,930,500	1,127,000
書籍販売収入	1,080,000	1,271,348	△ 191,348
雑収入	390,000	204,000	186,000
事業収入計	5,375,000	3,701,848	1,673,152
⑤寄付金収入			
寄付金収入	500,000	100,000	400,000
⑥雑収入			
受取利息収入	1,000	58	942
広告収入	15,000	45,000	△ 30,000
雑収入	2,000,000	2,715,275	△ 715,275
雑収入計	2,016,000	2,760,333	△ 744,333
事業活動収入計	26,854,000	28,043,370	△ 1,189,370
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
印刷製本支出	3,520,500	2,952,240	568,260
給料手当支出	2,164,166	2,052,221	111,945
臨時雇賃金支出	320,700	283,500	37,200
賞与支出	285,834	285,834	0
旅費交通費支出	2,070,660	246,800	1,823,860
通信運搬費支出	1,737,200	1,657,567	79,633
消耗什器備品費支出	256,000	285,210	△ 29,210
会議費支出	1,074,060	122,062	951,998
請謝金支出	595,000	416,095	178,905
負担金支出	180,000	348,055	△ 168,055
図書研究費支出	1,015,000	751,258	263,742
事業費支出計	13,219,120	9,400,842	3,818,278
②管理費支出			
給料手当支出	2,327,040	2,475,042	△ 148,002
賞与支出	465,408	465,408	0
臨時雇賃金	10,000	0	10,000
法定福利費支出	500,000	510,403	△ 10,403
会議費支出	293,640	15,284	278,356
旅費交通費支出	1,912,050	268,668	1,643,382
通信運搬費支出	1,797,210	1,839,885	△ 42,675
消耗什器備品費支出	889,300	480,045	409,255
修繕費支出	2,000	0	2,000
印刷製本費支出	420,980	150,357	270,623
支払手数料支出	107,800	1,012,000	△ 904,200
光熱水料費支出	140,000	116,100	23,900
賃借料支出	2,212,100	2,212,100	0
請謝金支出	80,000	20,529	59,471
租税公課支出	15,000	1,650	13,350
負担金支出	60,000	60,000	0
図書研究費支出	5,000	0	5,000
雑支出	195,600	195,680	△ 80
管理費支出計	11,433,128	9,823,151	1,609,977
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
事業活動支出計	24,722,248	19,293,993	5,428,255
事業活動収支差額	2,131,752	8,749,377	△ 6,617,625
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			

投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①その他の支出			
	108,000	0	108,000
投資活動支出計	108,000	0	108,000
投資活動収支差額	△ 108,000	0	△ 108,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	—	0
	0		
当期収支差額	2,023,752	8,749,377	△ 6,725,625
前期繰越収支差額	0	4,823,342	△ 4,823,342
次期繰越収支差額	2,023,752	13,572,719	△ 11,548,967

令和2(2020)年度 財産目録

財 産 目 録

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金			114,292
普通預金			15,711,047
定期預金			310,104
未収金			36,050
たな卸資産			103,185
流動資産合計			16,274,678
(固定資産)			
基本財産			
定期預金			20,000,000
その他固定資産			
敷金			963,900
固定資産合計			20,963,900
資産合計			37,238,578
(流動負債)			
未払費用			1,976,255
未払法人税等			70,000
前受金			500,000
預り金			52,519
流動負債合計			2,598,774
固定負債合計			0
負債合計			2,598,774
正味財産			34,639,804

監事監査報告書

一般社団法人 大学英語教育学会

会長(代表理事) 寺内 一 蔵

私ども監事は、一般社団法人大学英語教育学会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの業務について監査を実施しました。その結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

各監事は理事会に出席するほか、理事および法人の関係者から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施しました。

また、当該事業年度に係る貸借対照表ならび正味財産増減計算書、およびその附属明細書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

(1) 業務監査の結果

法人の業務について、法令、定款および規則等に従い、適正に運営されているものと認めます。

(2) 会計監査の結果

貸借対照表ならび正味財産増減計算書、およびその附属明細書は、法人の財産および損益の状況を正しく示しているものと認めます。


令和3年5月12日

一般社団法人 大学英語教育学会

監 事

笠島 茂 

監 事

寺内 一蔵 

支 部 だ よ り

<九州・沖縄支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部研究大会

①第 32 回支部研究大会

日時：2021 年 10 月 9 日（土）9:10～17:40

場所：オンライン開催

大会テーマ：これからの大学英語教育のあり方：高大接続改革を受けて（Innovations in University English Education: Connecting Secondary and Tertiary Education）

(2) 学術講演会

①2021 年度春季学術講演会

日時：2021 年 7 月 10 日（土）

場所：オンライン開催

テーマ：「マレーシアの教育文化と、研究における日本とのパートナーシップ」辻 智也（MJIT）

(3) 研究会

①第 218 回東アジア英語教育研究会

日時：2021 年 4 月 17 日（土）15:30～16:35

場所：オンライン開催

研究発表

1) 「日本の地方文化を発信する大学間協働学習のための通訳案内士インタビュー」 金志佳代子（兵庫県立大）、津田晶子（中村学園大）

2) 「絵本を活用した小学校英語教育」 早瀬沙織（中村学園大）

3) “A Personal Reflection on the Status of English in Malaysia” Khadijah Omar（佐賀大）

②第 219 回東アジア英語教育研究会

日時：2021 年 5 月 15 日（土）15:30～17:35

場所：オンライン開催

研究発表：

1) 「韓国の第 5 次教育課程から 2015 改訂教育課程までの基本語彙リストに関する比較研究」 清永克己（至誠館大）

2) “Current Status of University Entrance Examination Reform and High School English Education” 福永淳（九州工業大）

③第 220 回東アジア英語教育研究会

日時：2021 年 7 月 24 日（土）15:30～16:35

場所：オンライン開催

研究発表

1) 「クリティカル理論の限界：英語プログラム再構築に際してのプラクシス（praxis）の難しさ」 三村千恵子（宇都宮大）

2) 「韓国の歴代の大統領政権下における英語教育政策」 清永克己（至誠館大）

④第 221 回東アジア英語教育研究会

日時：2021 年 10 月 16 日（土）15:30～16:35

場所：オンライン開催

研究発表：

1) 「英語リメディアル教育におけるプレゼンテーション指導：タキシノミー・テーブルと日本語プレゼンテーションを導入して」 中西千春（国立音楽大）・川井一枝（宮城大）

2) 「小学校英語教育におけるチャンツ：発話の変化と児童の内省を通して」 川井一枝（宮城大）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2021 年 10 月 9 日（土）

場所：オンライン開催

議題：

- 1) 2020 年度活動報告について
- 2) 2021 年度活動計画について

(2) 支部役員会

①2021 年度第 1 回支部役員会

日時：2021 年 4 月 17 日 (土)

場所：オンライン開催

議題：2021 年度支部研究大会について

②2021 年度第 1 回支部紀要編集委員会

日時：2021 年 6 月 5 日 (土)

場所：メール会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 26 号の編集について

③2021 年度第 2 回支部役員会

日時：2021 年 7 月 10 日 (土)

場所：オンライン開催

議題：2021 年度支部研究大会について

④2021 年度第 2 回支部紀要編集委員会

日時：2021 年 7 月 17 日 (土)

場所：メール会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 26 号の編集について

⑤2021 年度第 3 回支部役員会

日時：2021 年 8 月 21 日 (土)

場所：オンライン開催

議題：2021 年度支部研究大会について

⑥2021 年度第 3 回支部紀要編集委員会

日時：2021 年 9 月 1 日 (水)

場所：メール会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 26 号の編集

について

⑦2021 年度第 4 回支部役員会

日時：2021 年 10 月 8 日 (金)

場所：オンライン開催

議題：2021 年度支部研究大会について

⑧2021 年度第 4 回支部紀要編集委員会

日時：2021 年 11 月 6 日 (土)

場所：メール会議

議題：『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 26 号の編集について

⑨2021 年度第 5 回支部役員会

日時：2021 年 11 月 20 日 (土)

場所：オンライン開催

議題：未定

3. その他

1) 『JACET 九州・沖縄支部ニューズレター』第 37 号
2021 年 4 月 20 日 (火)

2) 『JACET 九州・沖縄支部紀要』第 26 号

発行日：2021 年 11 月 30 日 (火)

(伊藤健一・北九州市立大学)

<中国・四国支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 春季研究大会

日時：2021 年 6 月 5 日 (土) 12 : 50 ~ 16 : 50

場所：オンライン開催

研究発表：

1) “Intentional and incidental EFL vocabulary acquisition in a high school learning context”
Michael Sharpe (高知大)、Davod Grant (高知工業高

等専門学校)

- 2) 「英語での生徒のパフォーマンスを評価するルーブリックとして利用可能なアプリケーションの開発」
中山晃(愛媛大)・木原拓海(愛媛大学大学院生)
- 3) 「中・上級英語学習者の形態素エラー:複数形態素“s”再訪」西谷工平(就実大) 中崎崇(就実大)
- 4) 「大学生初級英語学習者へのオンラインでのパラグラフ・ライティング指導ーピア・サポート活動を使ってー」奥田利栄子(広島大・広島修道大非常勤講師)
- 5) 「高専1年生に対する体育 CLIL の可能性 (4)ー英語を使用したバラスポーツの授業を事例としてー」
二五義博(海上保安大学校) 伊藤耕作(宇部工業高等専門学校)

講演:

「コロナ禍の言語教育ーオンライン英語授業の実践と課題ー」森田光宏(広島大)

(2) 秋季研究大会

日時: 2021年10月16日(土) 12:50~15:50

場所: オンライン開催

研究発表:

- 1) “Do Applied Improvisation exercises boost compassion in Japanese university students?” Ian Willey (香川大)
- 2) “Using Peer-Tutors in a TOEIC S & W Preparation Class” Gerardine McCrohan (香川大)
- 3) 「医療福祉教育系学部の多職種連携のための初年次英語教育ーオンラインによるグループ活動事例ー」
小崎順子(川崎医療福祉大)

講演:

「『J-POSTL エレメンタリー』の開発の理念とその主な使用方法」山口高領(秀明大: JACET 関東支部長)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部役員会

①第1回支部役員会

日時: 2021年6月5日(土) 10:30~12:10

場所: オンライン開催

報告事項:

- 1) 2020年度第2回役員会(遠隔会議)議事録確認
- 2) 2020年度の事業報告
- 3) 2021年 JACET60周年記念ウィークについて
- 4) JACET 将来構想について
- 5) 次回の JACET 理事会、及び社員総会について
- 6) 支部研究紀要について

審議事項:

- 1) 2021年度活動について
- 2) 2021年度人事について
- 3) 2021年度事業計画について
- 4) その他

②第2回支部役員会

日時: 2021年10月16日(土) 10:30~11:40

場所: オンライン開催

報告事項:

- 1) 2021年度第1回役員会(遠隔会議)議事録確認
 - 2) 2021年度の事業報告
 - 3) 理事会報告(第3回理事会・第4回理事会)
- 審議事項:
- 1) 2021年度の活動について
 - 2) 2022年度の事業計画と予算案について
 - 3) 2022年度の人事案について

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『大学英语教育学会中国・四国支部研究紀要』19号
発行日: 2022年3月31日(予定)

(2) 支部ニューズレターの発行

<関西支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

日時：リアルタイム2021年11月20日（土）

オンデマンド動画配信：2021年11月14日（土）～11月30日（火）

方法：インターネットによるオンデマンド動画配信およびリアルタイムでの講演&一般発表

大会テーマ：ポスト・コロナを見据えた英語教育
“Looking Ahead to English Language Education in the Post-COVID-19 Pandemic Era”

基調講演：

「国際英語教育の歴史的経緯と基本的課題」日野信行（大阪大）

招待ワークショップ：

「探求型学習から研究型授業への架け橋としての英語とICT」木村修平（立命館大）

特別講演：

「オンラインと対面の話し合い可視化技術とその学習者中心教育への応用」（ハイラブル株式会社）

研究発表：

1) “Effects of Extensive Reading, Word Recognition Training, and Timed Reading on Word Recognition” ホールズワース・マイケル（京都産業大）

2) 「大学英語教育における教科書使用実態に関する分析—社会状況論の観点から—」井田浩之（城西大）、松岡弥生子（国際基督教大）

3) 「ASRは英語教育現場で使えるか：学習者の発音得点との関係および誤認識結果の分析」中西のりこ（神戸学院大）

4) 「多文化パーソナリティがL2コミュニケーション不安および習熟度に与える影響について—予備調査からの示唆—」中村弘子（公立鳥取環境大）

実践報告：

1) “Collaborative Reading in Process Writing” 千葉朗子（龍谷大）

2) “Using CLIL Approaches in General English

Classes – How It Works Online and Offline” ザーボルスカー・ドロタ（平安女学院大）

3) 「語彙ネットワークの構築を目指した語彙指導の実践—問題作成タスクを通して—」中西淳（大阪工業大）

4) 「ポスト・コロナを見据えたリスニング指導法」上田眞理砂（立命館大）

5) 「オンライン授業における、授業導入の帯活動の実践報告」長谷川順子（佛教大）

6) 「オンライン授業におけるオンデマンド型クラス間合同発表会の試み」阪上潤（立命館大）

賛助会員発表：

1) 株式会社 金星堂（オンデマンド発表&大会当日のリアルタイム発表）

2) クリエイド・ラーニング株式会社（オンデマンド発表&大会当日のリアルタイム発表）

3) 株式会社 朝日出版社（オンデマンド発表）

4) オックスフォード大学出版局株式会社（オンデマンド発表）

5) 株式会社 三修社（オンデマンド発表）

6) 株式会社アルクエデュケーション（オンデマンド発表）

7) 株式会社 成美堂（オンデマンド発表）

8) 株式会社 松柏社（オンデマンド発表）

(2) 支部講演会

①2021年度第1回支部講演会

日時：2021年6月19日（土）15:30～17:00

場所：オンライン開催

講演：“Comparative Studies of TBLT and Other Approaches” 新谷奈津子（関西大）

②2021年度第2回支部講演会

日時：2021年10月16日（土）15:30～17:00

場所：オンライン開催

テーマ：「遠隔授業でのライティング指導」

(1) 「Social Citizenとしての英語発信—社会的意識を視野に—」 蔦田和美（関西外国語大短期大学部）

(2) 「ESDクラスでのチャットを活用した協働的ブレライティング活動」 野田三貴（大阪市立大）

(3) 「オンライン下でのプロジェクト発信型英語プログラムの挑戦—その取り組みと課題—」 山下美朋（立命館大）

(4) 「大学院共通科目アカデミック・ライティングにお

けるオンライン（オンデマンド）授業の試み」山西博之（中央大）

③2021年度第3回支部講演会（予定）

日時：2022年3月19日（土）15:30～17:00

場所：オンライン開催

テーマ：大学経営と英語授業学

講演：「大学経営と大学教育改革は日々の英語授業実践から」飯田毅（同志社女子大学長・教授）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2021年11月20日（土）

場所：オンライン開催

報告事項：

- 1) 支部長報告
- 2) 研究企画委員会報告
- 3) 紀要編集委員会報告
- 4) その他

審議事項：

- 1) 2022年度事業計画（案）
- 2) 2022年度予算（案）
- 3) 2022年度人事（案）
- 4) 支部紀要の投稿種別について
- 5) その他

(2) 支部役員会

①2021年度第1回支部役員会

日時：2021年6月19日（土）

場所：オンライン開催

報告事項：

- 1) 支部長報告
- 2) 2021年度事業計画について
- 3) 2020年度予算実績および2021年度予算について
- 4) 2021年度人事について
- 5) 研究企画委員会報告
- 6) 紀要編集委員会報告
- 7) その他

審議事項：

- 1) その他

②2021年度第2回支部役員会

日時：2021年10月16日（土）13:30～15:00

場所：オンライン開催

報告事項：

- 1) 支部長報告
- 2) 研究企画委員会報告
- 3) 紀要編集委員会報告
- 4) 支部HPについて
- 5) その他：2021年度第1回支部役員会議事録確認など

審議事項：

- 1) 2022年度事業計画（案）
- 2) 2022年度予算（案）
- 3) 2022年度人事（案）
- 4) SNSでの広報活動について
- 5) 支部紀要の投稿種別について
- 6) その他

3. その他

(1) 支部ニューズレターの発行

1) *JACET Kansai Newsletter* No. 89

発行日：2021年6月17日

2) *JACET Kansai Newsletter* No. 90

発行日：2021年7月30日

3) *JACET Kansai Newsletter* No. 91

発行日：2021年11月1日

（多田さおり・追手門学院大学）

<中部支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部講演会

大会テーマ：言語テストとCOIL (Collaborative Online International Learning)

日時：2021年10月30日（土）15:00～17:30

場所：オンライン開催

講演：

- 1) “A life in language assessment” John Shillaw（南

山大)

2) 「国際教育のゲートウェイとしてのCOIL」池田佳子 (関西大)

(2) 支部研究会 (予定)

①第1回定例研究会

日時: 2021年12月11日 (土)

場所: オンライン開催

講演・研究発表 (題目等未定)

②第2回定例研究会

日時: 2022年3月5日 (土)

場所: オンライン開催

講演・研究発表 (題目等未定)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

第2回支部総会 (予定)

日時: 2021年12月11日 (土)

場所: オンライン開催

(2) 支部役員会

①第5回役員会

日時: 2021年10月30日 (土) 14:00~14:55

場所: オンライン開催

議題:

1) 理事会報告

2) 事務局報告

3) 支部紀要 (19号) 発行について (報告)

4) JACET非会員への謝礼金について

5) 支部定例研究会について

6) ニュースレター (No. 47) 発行について、他

②第6回役員会

日時: 2021年12月11日 (土) (予定)

場所: オンライン開催

③第7回役員会

日時: 2022年1月31日 (月) (予定)

場所: オンライン開催

④第8回役員会

日時: 2022年3月5日 (土) (予定)

場所: オンライン開催

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『JACET中部支部紀要』第19号

発行日: 2021年12月25日 (予定)

(2) 支部ニュースレターの発行

JACET-Chubu Newsletter No. 47

発行日: 2021年12月20日 (予定)

(下内充・中部学院大学)

<関東支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 2021年度支部大会

日時: 2021年7月11日 (日) 9:00~18:00

場所: オンライン開催

大会テーマ: DX時代における大学英語教育—ハイブリッド・ハイフレックス・対面型学習—

English Language Education in Universities during the New Era of Digital Transformation: Hybrid, HyFlex, and Face-to-face Learning

研究発表 2件、実践報告4件、SIG発表3件、公募ワークショップ1件、公募シンポジウム1件、賛助会員発表3社

(2) 支部講演会

①第1回講演会

日時：2021年6月12日（土）16:00～17:20

場所：オンライン開催

講演者：船田なつの（東京大）

題目：The development of a new measure of English language learners' attitudes towards English as a global language

②第2回講演会

日時：2021年10月9日（土）16:00～17:20

場所：オンライン開催

講演者：福田スティーブ利久（文教大）

題目：The Autonomy-Supportive Classroom: Guiding Learning using Formative Assessment and ICT Tools

③第3回講演会（予定）

日時：2021年12月11日（土）16:00～17:20

場所：Zoomを用いたオンラインでの開催

講演者：佐野富士子（元横浜国立大）

題目：教育実践に取り入れたい最新の SLA 研究— ISLA（学びの場における SLA）を中心に

(3) JACET 関東支部企画

①JACET 関東支部企画（ワークショップ）

日時：2021年11月6日（土）14:00～17:00

場所：オンライン開催

講演者：片桐一彦（専修大）

題目：統計ワークショップ：初めて学ぶベイズ統計入門—アメリカ統計学会（ASA）の学術誌 The American Statistician は、「統計的有意」という概念とその表記を2019年に否定しかつ禁止した—

※講演会等の詳細は、支部会員 ML にて配信及び関東支部 HP 上に掲載されます。

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1)支部総会

①第1回支部総会

日時：2021年7月11日（日）11:30～12:00

場所：オンライン開催

議題：2020年度事業報告・会計報告、2021年度事業計画、JACET 関東支部規約改正等

②第2回支部総会

日時：2021年11月6日（土）13:30～13:50

場所：オンライン開催

議題：2022年度支部事業計画・予算、2022年度人事

(2)支部役員会

①第1回支部運営会議

日時：2021年4月10日（土）11:00～12:00

場所：オンライン開催

議題：

- 1)JACET 関東支部規約改正について
- 2)関東支部紀要のウェブ上での公開について
- 3)60周年記念大会 JACET Hours について

②第2回支部運営会議

日時：2021年5月8日（土）11:00～12:00

場所：オンライン開催

議題：

- 1)JACET 関東支部規約改正について
- 2)JACET Kanto Journal の J-STAGE への掲載について
- 3)60周年記念大会 JACET Hours について

③第3回支部運営会議

日時：2021年6月12日（土）11:00～12:00

場所：オンライン開催

議題：

- 1)JACET 関東支部規約改正について

2) JACET Kanto Journal の J-STAGE への掲載について

3) 2021 年度支部大会について

④第4回支部運営会議

日時：2021年7月10日(土) 11:00~12:00

場所：オンライン開催

議題：

1) JACET 関東支部規約改正について

2) JACET Kanto Journal の J-STAGE への掲載について

3) 2021 年度支部大会について

⑤第5回支部運営会議

日時：2021年9月11日(土) 15:00~16:00

場所：オンライン開催

議題：

1) 第2回支部総会、及び支部企画の日程変更について

2) 研究企画委員の運営会議参加率向上のための工夫について

3) 支部と SIG の在り方について

⑥第6回支部運営開催

日時：2021年10月9日(土) 14:30~15:30

場所：オンライン開催

議題：

1) 新規支部研究企画委員の入会について

2) 第2回支部総会、および支部企画の開催について

3) 2022 年度支部大会について

4) 支部 web の更新について

2021 年度支部運営会議 (予定)

第7回 2021年11月6日(土) 12:30~13:30

第8回 2021年12月11日(土) 14:30~15:30

第9回 2022年1月8日(土) 14:30~15:30

第10回 2022年3月12日(土) 14:30~15:30

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『JACET 関東支部紀要』第8号

発行日：2021年3月31日

『JACET 関東支部紀要』第9号(予定)

発行日：2022年3月31日

(2) 支部ニューズレターの発行

『JACET 関東支部ニューズレター』第16号

発行日：2021年3月31日 『JACET 関東支部ニューズレター』第17号

発行日：2021年9月30日

『JACET 関東支部ニューズレター』第18号(予定)

発行日：2022年3月31日

(田口悦男・大東文化大学)

<東北支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

日時：2021年6月26日(土) 15:00~17:00

場所：TKP 仙台西ロビビジネスセンターとオンライン(Zoom)のハイブリッド会議

ラウンドテーブルミーティング

「実践授業への思い ― コロナ禍での工夫を語る」

モデレーター 富田かおる(山形大)

1) 「スローラーナーに向けたオンライン授業の現状と課題」 畠山研(八戸工業大)

2) 「オンデマンド方式の授業をめぐる」 會澤まりえ(尚絅学院大)

3) “Engaging students in a large lecture class delivered in real time online: Problems and possibilities” Timothy Phelan(宮城大)

4) 「初級レベルの英語学習とオンライン授業」 多田恵実(弘前大)

5) 「Zoom 授業におけるヒントと課題」 MYU 英語授

業の実践から」川井一枝（宮城大）・小島さつき（宮城大）

(2) 支部例会

日時：2021年11月13日（土）13:00～16:30

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンターとオンライン（Zoom）のハイブリッド会議

※ 日本コミュニケーション学会（JCA）第22回東北支部研究大会との合同開催

研究発表

1) 「機械学習モデル」（AI分析）による、理数教育と英語教育の連携を踏まえた、中学校『総合的な学習の時間』調査研究」金子淳（三重大）・島山研（秋田大）
座談会

「対面授業／オンライン授業の評価と教育の行方」

司会 富田かおる（山形大）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2021年6月26日（土）14:40～15:00

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンターとオンライン（Zoom）のハイブリッド会議

議題：

- 1) 2020年度事業報告、支部会計報告
- 2) 2021年度事業計画案について
- 3) 2021年度予算案と運営方針について
- 4) 2021年度人事案について
- 5) TOHOKUTEFL（『JACET 東北支部紀要』）Vol. 10、『東北支部通信（JACET Tohoku Newsletter）』No. 48について
- 6) その他

(2) 支部役員会

①第2回役員会

日時：2021年6月26日（土）14:00～14:40

場所：TKP 仙台西口ビジネスセンターとオンライン

（Zoom）のハイブリッド会議

議題：

- 1) 理事会報告
- 2) 2021年度事業計画案、予算案・運営方針、人事案等について
- 3) 2021年度11月支部例会について
- 4) TOHOKUTEFL（『JACET 東北支部紀要』）Vol. 10、『東北支部通信（JACET Tohoku Newsletter）』No. 48について
- 5) その他

②第3回役員会

日時：2021年10月16日（土）～10月23日（土）

場所：メール審議

議題：

- 1) 2022年度事業計画案、予算案・運営方針、人事案等について
- 2) 2021年度11月支部例会について
- 3) TOHOKUTEFL（『JACET 東北支部紀要』）Vol. 10、『東北支部通信（JACET Tohoku Newsletter）』No. 48について
- 4) その他

③第4回役員会

日時：2021年11月20日（土）～11月27日（土）

場所：メール審議

議題：

- 1) 2022年度事業計画案について
- 2) 2022年度予算案と運営方針について
- 3) 2022年度人事案について
- 4) TOHOKUTEFL（『JACET 東北支部紀要』）Vol. 10、『東北支部通信（JACET Tohoku Newsletter）』No. 48について
- 5) その他

3. その他

(1) 支部紀要の発行 (予定)

TOHOKU TEFL (『JACET 東北支部紀要』) Vol. 10

発行日: 2022年3月31日

(2) 支部ニューズレターの発行 (予定)

『JACET 東北支部通信 (JACET Tohoku Newsletter)』

No. 48

発行日: 2022年3月31日

(岡崎久美子・仙台高等専門学校)

2) “With the Beatles” Kiwamu Kasahara (北海道教育大学)

3) 「教育向け動画ツール『Flipgrid』を活用した授業実践」上野之江 (北海学園大)

②2021年度第2回研究会 (北海道英語教育学会および日本コミュニケーション学会北海道支部との共催)
(予定)

日時: 2022年3月 日時未定

場所: 未定

講演・研究発表: 未定

<北海道支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会

①2021年度支部大会

日時: 2021年7月14日 (水) 19:00~20:25・15日

(木) 18:30~20:30

場所: オンライン開催

基調講演:

「〈学術的〉英語政策研究のあり方」寺沢拓敬 (関西学院大)

研究発表:

1) “Managing a Writing Lab during the Covid-19 Pandemic” Tom Stasinski (北星学園大学短期大学部)

2) 「英語で行われる講義理解プロセスにおける認知負荷の影響」沢谷佑輔 (北海道文教大)

3) 「悩み相談を用いた意思決定タスクの開発とその評価」志村昭暢 (北海道教育大)・酒井優子 (東海大)

(2) 研究会

①2021年度第1回研究会

時: 2021年11月17日 (水) 18:30~20:10 (予定)

場所: オンライン開催

実践報告:

1) “Conducting Online Classes: Challenges and Discoveries” Akira Iwata (北海道武蔵女子短期大学)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時: 2021年7月14日 (水) 18:35~18:55

場所: オンライン開催

議題:

1) 支部長報告

2) 2021年度事業報告

3) 2022年度事業計画

4) 2022年度人事

5) 各種委員会報告

6) 2023年度事業計画案

7) 2023年度人事案

(2) 支部役員会

①第1回役員会

日時: 2021年5月26日 (水) 18:30~20:00

場所: オンライン開催

議題:

1) 2021年度支部大会について

2) 2021年度支部総会について

3) 2021年度支部研究会について

4) 2021年度役員会の日時について

5) 茶菓責任者と本部国際交流委員の後任について

6) 2021年度役割分担について

- 7) 2022 年度人事案について
- 8) 2022 年度支部大会・研究会について
- 9) その他

発行日:2022 年 3 月 31 日 (インターネット上で公開)
(三ツ木真実・小樽商科大学)

②第 2 回役員会

日時: 2021 年 8 月 9 日 (月) 18:30~20:00

場所: オンライン開催

議題:

- 1) 理事会報告
- 2) 2021 年度支部大会について
- 3) 2021 年度支部総会について
- 4) 2021 年度第 3 回支部役員会について
- 5) 2021 年度第 2 回支部研究会について
- 6) 支部長選挙について
- 7) 2022 年度支部人事案について
- 8) 北海道支部選出社員について
- 9) 2022 年度支部大会・研究会について
- 10) その他

③第 3 回役員会

日時: 2021 年 11 月 24 日 (水) 18:30~ (予定)

場所: オンライン開催

議題:

- 1) 2022 年度支部大会について
- 2) 2021 年度支部総会資料について
- 3) 支部 NL (35 号) について
- 4) 次回役員会について
- 5) その他

3. その他

- (1) 支部紀要の発行 (予定)

Research Bulletin of English Teaching, Vol. 17

発行日: 2022 年 3 月 15 日

- (2) 支部ニューズレターの発行 (予定)

『JACET 北海道支部ニューズレター』35 号

編集後記

早いもので 2021 年も残すところあとわずかとなりました。今年は皆さんにとってどんな 1 年だったのでしょうか。昨年と同じようにコロナ禍に振り回された 1 年だったのではないのでしょうか。でもその一方で、みんな協力して知恵を出し合えば、どんな難局も乗り越えられることが体感できた 1 年だったように思います。JACET 創立 60 周年記念ウィークはその最たる例ではないのでしょうか。

来年はどんな 1 年になるのでしょうか。コロナ禍が収束してマスクのない生活が戻ってくるのでしょうか。それとも引き続きマスクをつけたままの生活が続いているのでしょうか。どういう状況になっても変わらないことがひとつあります。我々、大学で英語教育に携わる者は常に自分の教育力・研究力を向上させることが求められます。これをサポートしてくれるのが学会です。来年も学会での交流を通して互いに成長しましょう。(岩中)

編集：『JACET 通信』委員会

理事（筆頭） 富田かおる・山形大学
理事・委員長 岩中貴裕・山口県立大学
副委員長 松岡博信・安田女子大学
副委員長 岡崎久美子・仙台高等専門学校
馬場千秋・帝京科学大学
Gilner, Leah・愛知大学
伊藤健一・北九州市立大学
三ツ木真実・小樽商科大学
水島孝司・南九州短期大学
下内充・中部学院大学
多田さおり・追手門学院大学
田口悦男・大東文化大学

『JACET 通信』第 212 号

2021 年 12 月 1 日発行

発行者 一般社団法人 大学英語教育学会 (JACET)

代表者 小田 眞幸

発行所 〒162-0831 東京都新宿区横寺町 55

電話(03) 3268-9686 FAX(03) 3268-9695

URL : <https://www.jacet.org/>
